

幸中祭を終えて

221025

今年の幸中祭は、テーマである「紡（つなぐ） the 文化祭」のもと、制約のある中を生徒会がさまざまな趣向を凝らした取組で盛り上げてくれました。全校アートでは全校の手形を集めて素敵な絵を完成させました。学校のどこの場所に掲示されるのかが楽しみです。また、全校レクではタブレットを使ったクイズ&ビンゴゲームで楽しむことができました。団長のパフォーマンスも面白かったですね。（私のとんでもない発言で、一瞬会場がシーンとなってしまいました…。ごめんなさい）そして、有志発表でも圧巻のキレッキレのダンスや、コント、劇などのさまざまな出し物を披露してくれて楽しむことができました。先生方が一緒になってダンスを踊ったり、派手(?)な衣装で登場したりしたことには驚かされましたが、生徒のみなさんと一緒になって楽しんでいる姿がとってもいいな、うらやましいなと思っていました。先生たちと、「つながってる」と感じました。

そして、合唱コンクールでは、クラスの仲間と声を重ね、響かせ合い、輝き合う、そんな姿を舞台上の姿から感じました。みなさんも、一人ではできない、味わうことのできない心地よさを、感動を味わうことができたのではないのでしょうか。そして、「やっぱりみんなで歌うっていいな」って、感じているのではないのでしょうか。

歌そのものの持つ素晴らしさも文化ですが、こうして心を一つにして歌うことも素晴らしい文化といえます。それを創り上げた学級、全校も文化であり、「熱意」・「創意」・「誠意」が一つになって表現された「幸中文化」が育った姿であると思います。ぜひ、ここまでに育ててきた学級文化・学校文化に自信と誇りをもって、過ごしてくれることを切に願います。

次は、来週末の「USA さんとのライジングサン」です。それに向けての取組で、「みんなで」創り上げる学校文化を、さらに高めていきましょう。